

平成28年度事業報告

1 概況

(1) シルバー人材センターを取り巻く環境

我が国の65歳以上の人口は、3,459万人（平成28年10月時点）であり、総人口に占める割合は27.3%と過去最高の数値になっています。こうした状況のなか、シルバー人材センターは高齢者の社会参加や生きがい就労の実現において、大きな役割を担っています。

シルバー人材センター事業は、これまでも高齢者が住まいの地域で働くことを通じて活力ある高齢社会、活力ある地域社会づくりに貢献するとともに、健康で生きがいのある生活を送ることを理念として、事業を推進してきました。しかし、近年の労働局などからの適正就業に向けての指導により、契約金額の実績が伸び悩んでおり、その解決のため、労働者派遣事業に向けての検討が必要となっています。

その中、公益社団法人移行後、板橋区シルバー人材センターには、地域に根ざした自主的・効果的事業運営が求められていることから、様々な工夫を凝らしながらセンターの運営をしています。

平成28年度の契約件数は16,412件で前年度から1.9%増となり、契約金額は約14億9千3百万円で、前年度との比較では0.3%増となりました。公共と個人の契約金額が減少したものの、企業等の契約金額が増加となった結果です。これは、平成28年度から自転車駐車場管理業務が民間委託に切り替わったことに伴い、公共が減少し企業等の金額が増加したためです。順次、民間委託に切り替わっていくことから4年間同じ状況が続くこととなります。

また平成28年度は、財務基盤の確立に向け、収入・支出の見直しを図り、あらゆる事務所経費等の節約に努め、支出の抑制に取り組んだ結果、当期の正味財産増減額は833万円余の増加となりました。

この繰越金については、センター創立40周年記念事業に向けての委員会の開催や記念誌作成の準備経費とするほか、会員の皆様に利用していただく安全就業グッズの配布等を予定しています。

(2) 安全就業の状況

安全就業対策については、安全就業巡回指導や業種別研修会などの取り組みを積極的に行いました。その結果、平成28年度の傷害事故発生件数は、19件で昨年と比較すると10件減となっています。しかし、賠償事故については、昨年より6件増の7件でした。

安全就業対策は、何よりも最優先されます。

平成29年度も引き続き会員に対し、事故防止対策と安全就業に対する意識の向上及び

注意喚起を行い、事故の減少に努めていきます。

2 会員の状況

会員の増減と就業率

平成29年3月31日現在、会員数2,941人、平均年齢は72.6歳、最高齢は94歳です。60歳以上の板橋区民に対する会員の割合は1.9%となっています。

28年度就業実人員2,448人(前年比20人減)、会員数に対する就業率は83.2%(同1.1ポイント増)、就業者平均年齢73.6歳、就業者最高齢は94歳です。入会者は昨年より36人の減となり、会員数は昨年度比64人減となっています。会員数の減については65歳までの定年延長や、一層の高齢者活用など雇用環境の著しい変化による60歳代の入会者数の減少が要因と考えられます。

退会者410人の退会理由については、病気81人、会費未納103人、他での就職32人、転居23人、死亡20人、その他加齢等151人となっています。

会員の状況

平成29年3月31日現在

区分	男性 〔人〕	女性 〔人〕	合計 〔人〕	参考 板橋 区民	就業実人員内訳			
					就業 実人員 〔人〕	年 齢 階級別 就業率 〔%〕	合計に 対する 構成比 〔%〕	
年 齢 階 級 別 会 員 数	60歳～64歳	62 (77)	50 (81)	112 (158)	29,282 (30,413)	74 (109)	66.1 (69.0)	3.0 (4.4)
	65歳～69歳	517 (563)	336 (361)	853 (924)	37,428 (37,873)	653 (704)	76.6 (76.2)	26.7 (28.5)
	70歳～74歳	670 (725)	374 (349)	1,044 (1,074)	28,309 (28,281)	904 (917)	86.6 (85.4)	36.9 (37.2)
	75歳～79歳	494 (419)	211 (188)	705 (607)	24,773 (23,825)	621 (535)	88.1 (88.1)	25.4 (21.7)
	80歳以上	147 (166)	80 (76)	227 (242)	37,810 (36,294)	196 (203)	86.3 (83.9)	8.0 (8.2)
合 計	1,890 (1,950)	1,051 (1,055)	2,941 (3,005)	157,602 (156,686)	2,448 (2,468)	83.2 (82.1)	100 (100)	
平均年齢〔歳〕	72.9 (72.7)	72.1 (71.7)	72.6 (72.3)		73.6 (73.2)			
入 会 者〔人〕	210 (243)	136 (139)	346 (382)	入会説明会参加者	529	(523)		
退 会 者〔人〕	270 (308)	140 (163)	410 (471)					
※退会理由：病気81人 会費未納103人 就職32人 転居23人 死亡20人 その他加齢等151人								

※ () 内は前年度実績

※〔参考〕板橋区民は平成29年4月1日住民基本台帳による。

3 組織運営の状況

(1) 総会・理事会の開催

- ①定時総会 文化会館 大ホール
第6回 平成28年 6月23日 会員数3,007人
(出席者686人 委任状1,352人 議決権行使226人)
- ②理事会の開催 13回
(補正予算案他を審議)
- ③監査の実施
平成28年 5月12日 公認会計士による監査
平成28年 5月13日 監事による監査

(2) その他の機関・組織の活動状況

会員参画による事業運営を次のように行いました。

- ①安全管理委員会 3回
- ②広報委員会 広報誌「生きいき」の作製検討 8回
- ③地区リーダー会議 5回
- ④地区懇談会 延429人出席 (高島平A・B班は合同で開催) 18回
- ⑤有料自転車駐車場リーダー会議 2回
- ⑥いこいの家連絡会 6回
- ⑦その他グループ会議等 植木職、除草職、表具職、シニアエアロビクス

4 就業等の機会確保及び提供

(1) 事業収入状況等

事業収入は1,492,592,878円で前年に比べ、3,700,221円増となりました。

そのうち、公共の事業収入は、前年対比で73,179,964円・8.4%の減、企業等は、81,002,791円・18.1%の増、個人は、4,122,606円・2.4%の減となりました。

公民比率については、公共：民間（企業等＋個人）＝793,099,234円：(528,771,034円＋170,722,610円)＝53.1%：46.9%となっています。

なお、受託事業の就業開拓にあたっては、コンプライアンスを重視し、既存の受注契約の更なる見直しを進め、新規受注に際しては、雇用、人材派遣とみなされる恐れがないかを念頭に置きながら進めました。そのような恐れがない依頼については、安全に就業できるものであれば、業種、規模を問わず、可能な限り受注しました。

平成28年度事業収入等の内訳

	公 共	企 業 等	個 人	合 計
事 業 収 入 (円)	793,099,234 (866,279,198)	528,771,034 (447,768,243)	170,722,610 (174,845,216)	1,492,592,878 (1,488,892,657)
配 分 金 収 入 (円)	732,807,043 (807,494,440)	489,357,353 (414,475,346)	139,671,594 (143,809,623)	1,361,835,990 (1,365,779,409)
材 料 費 等 収 入 (円)	2,341,564 (2,562,733)	863,161 (824,809)	12,371,895 (11,848,205)	15,576,620 (15,235,747)
事 務 費 収 入 (円)	57,950,627 (56,222,025)	38,550,520 (32,468,088)	18,679,121 (19,187,388)	115,180,268 (107,877,501)
契 約 件 数 (件)	2,296 (1,877)	6,061 (5,965)	8,055 (8,267)	16,412 (16,109)
延 日 人 員 (人)	140,014 (153,691)	147,099 (132,959)	36,458 (38,149)	323,571 (324,799)

※ 収入・件数には独自事業も含んでいます。※ () 内は前年度実績

(2) 独自事業の状況

独自事業の実績については、次のとおりで、リサイクル自転車販売台数が前年度より19台、販売額が13.6%増加しました。

ソーイング事業は販売額が前年度に比べ約2.0%増になりました。

パソコン教室は、コース数受講者数ともほぼ横ばいで、約3.5%減となりました。

シニアエアロビクスについては、参加者数が増加し、教室開催数は減少しましたが、事業収入はほぼ横ばいでした。

木工クラブ事業については、地域イベント等で木のおもちゃを展示販売する機会が増えたため、事業収入が39.7%増加しました。

①自転車リサイクル事業

就業会員 3人 年4回販売 355台 2,129,932円

(参考：27年度 年4回販売 336台 1,874,179円)

②ソーイング事業

就業会員16人 小物作り、お直し、オーダー等点数 1,594点 3,626,750円

(参考：27年度 1,127点 3,555,350円)

③パソコン教室事業

就業会員 5人 6コース11教室 受講者18人 143,372円

(参考：27年度 6コース11教室 受講者17人 148,641円)

④シニアエアロビクス教室事業 (ゴム紐体操教室含む)

インストラクター就業会員17人 教室285回 延8,601人参加 1,896,316円

(参考：27年度 教室299回 延8,257人参加 1,898,304円)

⑤木工クラブ事業

就業会員13人 木のおもちゃを製作、販売 685,500円
(参考：27年度 490,520円)

木のおもちゃ作り教室 1回

(3) 社会貢献・ボランティア活動状況

ボランティア活動の実績は、次のとおりです。

- ①「いたばし子ども見守り隊」 年間活動延人員 1,030人
- ②「東京マラソン祭り」観客誘導・整理 参加実人員 16人

(4) 日常生活支援総合事業

平成28年10月より、「赤塚いこいの家」2階を事務所として、「ケアルーム赤塚」を開設。同業務に係る専任のコーディネーター3名を配置し、事業PR、会員研修並びに就業支援を実施。

①事業活動報告（開拓・PR）

- ・区内地域包括支援センターを訪問 18ヶ所×2回
- ・区内居宅介護支援事業所全件に開設案内通知を送付
- ・地域包括支援センター長会議に出席し事業PRを実施
- ・板橋区介護保険事業 訪問介護事業所集団指導における事業PR
- ・区内全事業所連絡会に出席し事業PR

②就業会員向け研修（事業従事のための必須研修）

延4回実施 参加人員 32名

※研修受講者には研修修了後 修了証を付与

5 就業機会の適切なコーディネートと公平化

(1) 就業相談の実施

会員の就業機会を的確かつ効率的に拡大するため、特に就業希望者登録説明・選考会を引き続き実施しました。

- ①事務局内において来所者に対する就業相談 常時
- ②個別就業相談会 5回（5, 8, 10, 12, 2月） 相談者 延36人
- ③就業希望者登録説明・選考会
（有料自転車駐車場・学童擁護・施設管理・自転車放置防止業務）
延10回（5, 8, 11, 12, 3月）参加者 延151人
（参考：27年度 参加者 延185人）
- ④アクティブシニア合同面接会（会員以外も含む）
2回（10月5人, 3月7人）参加者 12人

(2) 就業機会の公平化と長期就業を是正するための就業期間制限

①対象職種

地域センター 情報処理センター 工場ビル 男女平等推進センター 児童館
小学校来校者受付 いこいの家 有料自転車駐車場 自転車保管所
自転車放置防止業務

②実施状況

定年 4人

職種グループ内就業期間満了 41人

同一就業場所就業期間満了（施設間異動） 27人

③その他 学童擁護（交通安全指導）については順次、複数体制に移行

6 会員の安全対策

前年度に引続き28年度においても、就業中や行き帰りの事故が多くなっています。このため、「会員安全手帳」配付や転倒予防に力を入れました。また、全会員に感染症対策グッズを送付しました。

①安全管理委員会 年3回

②「会員安全手帳」配付 2,500部

③入会時に「安全10カ条」パンフレット配付

④ミニ転倒予防教室 地区懇談会18地区 386人参加

⑤普通救命講習 1月 2回 53人参加

⑥広報誌「生きいき」に毎号「安全通信」を掲載 年5回

⑦安全就業用被服の貸与

⑧感染症対策グッズ（マスク、消毒用ジェル、うがい薬 他）全会員に送付

⑨脚立を点検 新しく三脚6本、脚立35本、二連梯子9本を購入

⑩自転車安全講習会 会場しごと財団 10月 1回 1人参加

⑪安全管理委員・支援員の安全就業巡回（夏季・冬季） 20人 61カ所

7 会員に対する研修

会員の資質の向上を図るため、以下の研修を実施しました。

① 入会説明会・接遇研修 4月～3月 346人参加

② 非行防止等研修 2月 6回 791人参加

③ 植木剪定研修 1月～3月 延135人参加

④ 植木剪定個別指導研修 4月～3月 延257人参加

⑤第3ブロック役員研修

「シルバー人材センターの安全就業について考えるべきこと」

会場 板橋区 3月 9人参加

⑥第3ブロック会員研修

「法令遵守・情報管理研修」 会場 新宿区 1月 4人参加

⑦第3ブロック安全就業実践研修

「傷害・賠償事故防止対策集」の活用

会場 中野区 9月 11人参加

8 広報・普及啓発活動

(1) センターのホームページによるPRの他、次のような広報活動を行いました。

①「広報いたばし」

・PR記事の掲載 3回

・センター事業（エアロビクス教室他）参加者等募集記事 9回

②板橋区施設等にパンフレットを配布

③板橋区民まつり・農業まつり・赤塚梅まつり他、地域まつりへ参加（10, 11, 3月）

延9回

④ハッピーロード大山商店街「ハッピースクエア」展示販売（9, 2, 3月）

延6回

⑤町会、自治会の協力によるチラシの回覧（3月） 1回

⑥町会連合会等関係団体会報や、板橋区が発行する情報誌、また区民まつり等のプログラムに広告掲載 延11回

⑦広報誌「生きいき」の発行 5回

ア 第174号 4月15日号 イ 第175号 7月15日号 ウ 第176号 9月25日号

エ 第177号11月15日号 オ 第178号 1月25日号

(2) 情報公開

ホームページを活用し、公益社団法人として公開すべき情報の他、就業情報、活動情報等を公開しました。

9 調査研究

未就業会員の現状を把握し、どのような意向を持っているか分析し、今後の更なる就業率の向上に寄与するための基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

①調査方法 平成29年1月に回答用紙の郵送によるアンケート方式

②調査結果 対象者582人中、269人の回答がありました。

*詳細は広報誌「生きいき」179号（平成29年4月15日発刊）に掲載

10 その他の事業運営の状況

(1) 主な保険の加入状況

事業運営上のリスクに備えて加入している保険は主に次のとおりです。

①シルバー人材センター総合保険(継続加入)

ア 保険料 8,686,170円

(保険料内訳：傷害7,497,360円 賠償1,188,810円)

イ 保険適用 (保険金支払いが確定した件数及び金額)

傷害事故 20件 6,194,500円 内27年度事故分 7件 5,380,000円

賠償事故 6件 368,208円 内27年度事故分 1件 6,776円

②動産総合保険(継続加入)

ア 保険料 153,400円

イ 28年度中の保険適用なし

③役員賠償責任保険(継続加入)

ア 保険料 115,000円 填補限度額 3千万円

イ 28年度中の保険適用なし

④個人情報取扱事業者保険(継続加入)

ア 保険料 147,640円 賠償限度額 1億円 諸経費費用限度額 3千万円

イ 28年度中の保険適用なし

11 その他

事務局の状況

平成29年3月31日現在 事務局長1人 次長1人 その他の常勤職員5人 嘱託職員3人
その他の非常勤職員21人となっております。

平成29年3月末をもって、次長1人が退職いたしました。